

## 1. 刊行のあいさつ

こんにちは。北海道に素直な心を広めるための紙上の塾の世話人の田中です。私は何者なのか、うさんくさく思われた方は裏面をご参照ください。宗教や政治とは一切関係ありません。

少しずつ寒さも緩み、陽射しが強くなり、春が近づいてまいりました。インフルエンザやノロウイルス等の感染症は変わらず猛威を奮っております。万全な体調管理をお願いします。

## 2. 松下幸之助さんは会社の移転先の方角が鬼門であつても一切気にも留めなかった

昭和8年当時、大阪の大開に所在していた松下電器産業は大量の製品の需要に対応できず、工場を大きくして移転することになった。場所は大阪の門真であつた。門真は大開から北東の方角であり、いわゆる『鬼門』であつた。多くの部下からも移転先が門真で大丈夫かと言われていた。

松下さんは、日本列島自体が北東方向に伸びており、それであれば列島自体が鬼門であることになると言い、気にしないで門真への移転を決行した。

それから90年以上、松下電器産業は、大阪府門真市で悪いジンクスを受けることなく、安定した経営基盤を保ち、大手電器メーカーとしての地位を維持している。

ピンチを気にせずチャンスに転換する松下さんの発想は誰にも真似できない素晴らしいものであります。

## 3. 素直な心について

『失敗を後悔しないで感謝する』

取り返しのつかない失敗を冒してしまった時、気持ちが前向きな方は「気にしすぎて後に引きずることなく、嫌なことは早く忘れてしまおう。」と考えがちです。しかし誰もが上手に気持ちを切り替えられるわけではなく、忘れたくても忘れられない失敗として残り、後悔の念に苛まれてしまいます。

そういう場合は無理に記憶から消し去ろうとせず、心の中に残したままにしても良いのです。

その代わり、「今この経験が出来て良かった。貴重な経験をしたことに感謝する。」と気持ちを切り替えてみれば、案外その後は、すがすがしい気持ちでいられるものです。

## 4. 私の好きな松下幸之助さんの言葉

『短所より長所を見る』

「坊主憎けりや袈裟まで憎い」とあるように、誰かに対し強い嫌悪感を抱いている時は、その人の良いところなど一切目に入って来ません。何かで腹が立って、心の中の殆どがそれに支配されることほど無意味なことはないかと思います。心の中から、腹の立つ思いを排除して心を無にしてみると、他人の長所も見えてきやすくなるかと思います。自分の知る範囲内で嫌と思える人も、自分に見えない所で、人に親切にし、他人と仲良くやっていることも良くあるものです。良い人か悪い人かを第三者に尋ねると、自分が思っているほど悪い人ではない場合が多いのです。

自分の尺度にのみ当てはめて他人を見ることは偏見につながります。どんな人にも長所は必ずあるとの認識で他人を見てあげることが大事です。

## 5. 編集後記

年が明けたのもついこないだのように感じます。札幌周辺の大雪で交通機関が麻痺し、日常生活に多くの支障を来してしまいました。当たり前のことに感謝する良い機会になったのではないかと思います。

3月に定年退職される方、今までお疲れ様でした。決算事務で忙しい方、体を大事にしながら乗り切ってくださいませ。

過去のバックナンバーをご覧になりたい方は、裏面に表示のメールアドレスにメールで「バックナンバー希望」と入力して送ってくだされば添付ファイルで送付させていただきます。

これを読むだけではなく、ご自身も一言言わせてほしい、何人かで討論したいと思われた方は、裏面をご覧になり、入会をご検討くだされば幸いです。